

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月25日

【評価実施概要】

事業所番号	4270103411
法人名	社会福祉法人 春秋会
事業所名	グループホームくぬぎ(椽)
所在地	〒850-0992 長崎市江川町92番 (電話) 095-879-7640

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年2月23日	評価確定日	平成20年3月31日

【情報提供票より】(平成20年 1 月 23 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り
	2 階建ての 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,100 円		

(4) 利用者の概要(1月 23 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.8 歳	最低	70 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	長崎記念病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体事業所であるケアハウスの入居者が認知症になった際の行き先の確保の為に平成15年4月開設されている。木の温もりを感じる事ができる、明るく、暖かで清潔感に溢れるホームである。「ゆっくり・いっしょに・たのしく」という理念が職員の意識の中に浸透して共に連携し、入居者へ支援している。入居者それぞれのペースが尊重され、入居者は穏やかに過ごしており、職員の入居者から学ぶという姿勢や、自然な関わりには行き届いた配慮が窺える。又、ケアの実践の記録が分かりやすく記録されており、見やすく、常に改良が重ねられ整備されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題 1.契約書・重要事項説明書に入居者の権利と義務の明示は検討中である。 2.理念は、ご家族への便り及び利用案内に明示し、地域に配布している。 3.ケア会議では、毎月例会を交代し意見が出やすいように工夫している。 4.職員は、入居者自身が選定できるような言葉掛けを心がけ、希望や自己決定の促しに努めている。 5.地域の人たちとの交流促進は、運営推進会議の開催で、地域代表の参加により関心が向けられつつある。運営者は事業全体の観点から地域交流・地域貢献の構想を持っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義は管理者より職員に伝えられており、管理者が日常の中で、職員それぞれに確認しながら自己評価が作成されている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>会議では、ホームの現況や運営に関する事を中心に、行政のアドバイス・地域の意見や要望・家族の意見等の質疑応答がある。回を追うごとに議案が充実し、前回出された意見はできる事から運営に活かされている。特に地域の関心と理解は大きいので、自治会・老人会・婦人会・子ども会・警察・消防等、多彩な地域のメンバーにも積極的に参加を募り、更なる地域との交流促進に繋げていくことに期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>ご家族の意見はよく聞き、その都度状況に応じ、繰り返す事が無いように、改善して対応している。事故対策委員会が設置され、発生の要因・課題を検討し、再発の予防に繋げており、ご家族への連絡の記録もある。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の行事に参加したり、中学校の体験学習を受け入れている。入居者に地元の方がおられ、近所の友人が遊びに来ることもある。運営推進会議では、地域代表の理解と関心が大きく、協力を仰ぎながら、地域の参加メンバーを増やしたり、運営者の構想が実現できるように、事業所が地域住民の一員として、又、事業所と地域の人々が支え合うような双方向関係の基盤づくりに期待したい。</p>

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり・いっしょに・たのしく」と入居者の尊重・自立支援・安心安楽が盛り込まれた理念が掲げられている。しかし、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくケアの具体的なイメージを持った内容には及んでいない。設立後まもなく5年になるとうとする事から、入居者の介護度の低下、職員の入れ替わり等により、理念の見直しが検討されている。		理念の見直しを機会に、地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、これまでの理念の内容に加え、地域生活の継続支援と事業所と地域の関係性強化の内容が盛り込まれる事が望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、毎朝のミーティング、申し送りの際に確認している。職員採用の際にも伝えられており、日々のケアにあっても職員は、お互いを振り返り、確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に参加する事があり、中学校の体験学習の受け入れや、地域の商店より食材を配達してもらう等、関係性を深めつつある。しかし、事業所と地域の人々が支え合うような双方向関係には及んでいない。		運営推進会議には地域の多彩なメンバーに参加してもらったり、自治会活動その他、地域住民の一員として地域で必要とされる活動や役割を担っていく努力が望まれる。又、入居者への日常支援を第一にしつつ、事業所で培ってきたケアの技術を地域の高齢者のケアサービスの推進に還元していく取り組みに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義は管理者より職員に伝えられており、管理者が日常の中で、職員それぞれに確認しながら、自己評価が作成されている。前回の改善項目は、一部を除き、日々のケアに活かされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、事業所の現況・運営状況の報告と共に参加メンバーからの質問、意見、要望を受け、次回に活かされている。入居者が地域で暮らし続けるための基盤づくりの為に、尚、地域の多彩なメンバーの参加の余地がある。会議の中で、自己評価の内容を説明する事、外部評価の結果を公表するまでには至っていない。		入居者が地域と繋がりがながら、暮らしていく事を積極的に支える為にも、自治会・老人会・婦人会・子ども会等にも、運営推進会議の意義や役割等を十分に理解して積極的に参加してもらえよう働きかけに期待したい。又、会議では、自己評価の内容を説明する事、外部評価の結果を公表する事など、評価と運営推進会議が一体的に活かされていく相乗効果に期待したい。

グループホーム くぬぎ(椽)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	平成16年・17年・18年に1回ずつ介護相談員を受け入れている。職員の実務上の事、事務処理に関わる事等、不明な点があれば適時に市担当窓口へに訊ね、市職員からの説明やアドバイスを受けている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族面会時の状況報告に加え、行事やドライブの様子は、面会時の話題の提供にと、アルバムが作成されている。毎月の入居者の様子や状況は、それぞれのご家族に写真入りの便りが出されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族代表が参加し、不安な思いや意見などの質疑応答がある。ヒヤリハット・事故報告書等にはご家族への報告、ご家族の意見の欄があり、検討されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新人職員を受け入れ難い入居者の場合、時間を掛け、新人職員には馴染んでもらう様、サポートをしながら、先輩職員も継続して支えている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	消防署の研修は毎月テーマが変わり、交代で参加している。受講後は報告書を提出した後、伝達講習により他職員へ周知されている。個別対応や柔軟な支援の為に、職員は現場で共に考え、管理者の助言を仰ぎながら日々の体験を働きながらの学びに活かしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に以前は参加していたが、事業所が目指すニーズがあり、現在は参加していない。他グループホームの現状・ケアの技術等の相互交流の意欲は持っているが機会がない。運営者は近隣の共通のコミュニティーで相互交流の構想がある。		運営者の構想には、日々のサービスや職員育成に役立つ実践的な交流や連携があり、早期実現に向けての取り組みに期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族と面談し、ご本人にも納得してもらった上での入居となる。入居者に未だ不安がある場合は、期間を限って体験入居をして頂き、職員や他の入居者、ホームの雰囲気等に徐々に馴染んでもらってからの入居となる事もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	BGMの童謡や昔の歌を自然に口ずさまれる時に職員は、歌詞や曲想などを教えてもらったりしている。退院後、大幅な介護度の低下があっても、ご本人の頑張りや職員の支援で力を回復されたり、感謝の言葉を述べられたときに、職員は喜びと遣り甲斐を覚え、又、入居者のこれまでに培った家事の技術や、昔、教師だった方の教え方に学ぶ事がある。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で観察・声掛けに工夫し、把握に努めている。言葉や表情等からその思いを汲み取ったり、さりげなく確認するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランは担当制であり、日々の関わりの中でご本人の希望や要望を把握し、原案作成後、ご家族に提示している。又、面会時や電話で、ご家族の希望や要望を尋ね取り入れられており、他職員には日々の関わりの中で尋ね、気づき加えられている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	生活プラン評価表によりプランの遂行状況、効果を評価し必要に応じて見直されている。状況が変化した場合はご家族とよく連携し、ご本人の要望を取り入れながら検討、見直しが行われている。		

グループホーム くぬぎ(椽)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入浴が困難な方が、同業事業所デイサービスのリハビリ利用により、可能になった方がいる。又、毎月1回、美容院への訪問があり、好みに応じてカットしている。ご家族付き添いの受診にはご家族の要望により、病院への送迎を支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれの入居者・ご家族希望の主治医があり、受診状況や状況変化等、細やかに連携し、受診の支援が行われている。受診支援後の家族への連絡事項は、記録により確認されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所方針として看取りは行わない旨を入居時に明確に説明し、納得して頂いている。安心した利用をして頂けるように、医療機関との連携や、ご家族への随時の連絡を密に行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレへの誘導には「ちょっとそこまで行ってみましょうか」といったさりげない言葉掛けをしている。入居者と寄り添いながら記録するような時も、その日の記録の用紙1枚のみを持って、メモする程度にしておき、後で書き写し、綴じ込む等、個人情報に配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「これをしますか?」「あれをしますか?」といった入居者が選べるような言葉掛けを心がけ、入居者の気持ちを尊重した支援を心がけている。食事に時間がかかるようであれば、気兼ねなく最後まで食べ終わられるよう、場所、人、周りの雰囲気等に配慮している。		

グループホーム くぬぎ(椽)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの根きり、さやえんどうの筋取りや、お漬物を注ぎ分けて下さったり、食べた後の食器を下げたり、茶碗を拭いたり、それぞれに応じて手伝われていた。食事は彩り良く、人参を型抜きする等、見た目も美味しそうな工夫があり、それぞれの食材は小さめに、大きさも揃え、食べやすいように工夫されていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があれば、毎日入浴可能であり、入浴を拒否される方については、1週間に1度は入って頂けるよう、病院の先生の言葉として促したり、気持ち良く入って頂けるように声掛けを工夫している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物をたたむ方、ぬりえに集中される方、歌の好きな方にはカラオケを、花の世話が好きな方にはプランターの水やりや、生け花の先生をされていた方は、テーブルの花の生け替えをと、その方に応じた支援がなされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月2～3回のドライブや外食への外出がある。身体的・精神的に落ち着いている方は、散歩や買い物等で外出している。又、玄関のプランターの花の世話で外気を浴びたりしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階がデイサービス、2階がグループホームの為、2階の階段口に扉はなく、ローラーつきの観葉植物を置いた衝立で仕切られている。デイサービスが休みの日は、ご家族同意の下、防犯の為、1階玄関に鍵が掛けられている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月1回消火・通報・避難訓練が行われているが、時間帯を変えた設定や、自然災害を想定した訓練・災害用備品の準備には及んでいない。		災害はいつどんな時間帯で起きるとも限らず、昼夜を通じて様々な時間を想定しての訓練が望まれる。又、地域住民や、警察・消防と連携しながらの協力体制の構築に期待したい。事業所間の具体的な支援体制の整備や、食料・飲料水・トイレ・寒さを凌げるような物品の整備も望まれる。

グループホーム くぬぎ(椽)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分の摂取量は、チェック表に記録され一日の総量はおおよそ把握されている。栄養のバランスの良い献立で、ケアハウスの栄養士に相談出来、状況に応じて、とろみが付けられている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは明るく、広々としており、整理整頓され清潔感に溢れている。各所にソファや椅子が置かれ思い思いに座っている事ができる。ダイニングと続き、ご飯の炊ける匂い、食事の出来る様子や人の動きがうかがえる。又、観葉植物が置いてあったり、テーブルには花瓶に季節の花が生けてある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ・ぬいぐるみ・椅子やソファ引き出し等、使い慣れた物、馴染みの物でその人の居室らしく設えられている。そのときによってベッドで休んだり、布団を敷いたりされる方には、畳が置けるように用意してある等、それぞれが居心地よく過ごせる様、支援している。		